

令和7年(2025年)度 茨木市立養精中学校「教育計画(グランドデザイン)」

学校教育目標 「自学実践」

～自ら考え、進んで実践する生徒・教職員の育成をめざす～

学校努力目標 多様性を認める“虹色の学校づくり”

～ちがい(強み)を豊かさに～

目指す生徒像

ちがいを認め合いながら
学び合い、高め合うことが
できるところが
やわらかくてやさしい生徒たち

目指す学校像

ちがいを認め合いながら
それぞれの「強み」を発揮できる環境を持つ

目指す教職員像

ちがいを認め合いながら
学び合い、高め合うことが
生徒たちとも同僚ともできる教職員
『教えるのプロから学びのプロへ』

実現するためには、教育課程の中に「非認知能力育成」という大きな柱を中心に据える

- ① やる気(いろいろなことに挑戦しようとする力) ② やり抜く(困難なことにもくじけない) ③ 共感性(気持ちを感じあえる)
- 自分を高める力<自分力> 自分と向き合う力<ゆめ力> 他者につながる力<つながり力>

学校行事、学年行事、授業を通して、まず、授業者(教職員)も生徒たちも「本人が意識すること」

学力保障

- ・授業スタンダードの徹底(目標と流れの提示・説明は短く活動は多く・ペアやグループの活用・振り返りの設定)
- ・校内授業研や相互授業参観の有意義な実施
- ・ユニバーサルデザイン、タブレットを活用した授業づくり

生徒支援

- ・「生徒指導」から「生徒支援」へ
- ・生徒指導提要に沿った規則の見直し
- ・生徒指導事象の情報共有の徹底
- ・「生徒支援」に関する教職員研修の充実
- ・生徒たちの「自立」を支援する体制づくり
- ・学校に来づらい生徒を限りなく0(ゼロ)に

人権教育

- ・差別に気づく力・許さない力を育む人権学習の推進
- ・学力保障・生徒支援、支援教育との確かな連携
- ・人権学習のテーマを明確にした連続性のある学びの実現と体制の整備

<地域や関係諸機関との密な連携> 市教育委員会・市(市民文化部・福祉部・子ども育成部等)・学校運営協議会・PTA・青少年健全育成運動協議会・保幼小中学校・高校・大学・公民館・自治会・福祉委員会・民生委員児童委員・人権擁護委員・保護司・青少年指導員・スポーツ推進委員・ユースプラザ・SC・SSW・CSW・学校医・学校歯科医・学校薬剤師・同窓会・茨木警察署・吹田子ども家庭センター・茨木少年サポートセンター等